

## 新しい門出のお祝いに 「ご入学おめでとうプロジェクト」

西濃建設（株） 文房具寄贈

3月25日、西濃建設（株）代表取締役社長 宗宮郷さんが来庁し、新小学1年生に2B鉛筆1ダースと15cm直定規を、新中学1年生にシャープペンシルを寄贈しました。

同社は、平成29年度より地域貢献事業の一環として寄贈を行っており、今年で9年目となります。宗宮社長が「地元の企業として少しでも子ども達の支えになれば」と話されると、町長は「毎年子ども達のために寄贈いただき、ありがとうございます」と謝意を述べました。



▲目録と入学祝い品を手渡す宗宮社長（左）



▲受賞した目加田菊次さん（左）

## 一般社団法人 日本蕎麦協会 会長賞を受賞

第36回全国そば優良生産表彰

3月28日、目加田菊次さん（寺内）が役場を訪れ「第36回全国そば優良生産表彰事業」において表彰された旨を町長に報告しました。

受賞理由として、排水対策を徹底すると同時にスマート農業技術を活用し、作業の効率化を図り、コストの削減をすることで高い収量を実現されていることが評価されました。目加田さんは「今後もさらに収量を増やすために病害虫対策を徹底していきたい。また、新しい試みとして10割そばの乾麺を実現させ、それをふるさと納税の返礼品として提供することで、大野町の魅力発信に繋げていきたい」と話していました。

## ドラゴンズベースボールアカデミー岐阜・大野町校が開校

4月7日、プロ野球中日ドラゴンズのOBが指導する野球教室「ドラゴンズベースボールアカデミー岐阜・大野町校」がレインボースタジアムで開校しました。町内外から約50人の園児と児童が入校し、1年間、週1回の練習に取り組みます。開校式では、町長が「野球を楽しみながら、技術と心を磨いて欲しい」と参加者に声をかけました。



▲キッズコース（年長～小3）



▲ジュニアコース（小4～小6）



## 被災地の復興に役立てて

### 赤十字奉仕団

5月13日、町赤十字奉仕団 委員長 後藤かよ子さん、副委員長 宇佐美泉さん、田代紀子さんが来庁し、4月17日開催の町赤十字奉仕団総会において団員の協力により集められた「令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金」40,063円と「2025年ミャンマー地震救援金」20,902円を日本赤十字社 岐阜県支部 大野町分区 宇佐美晃三 分区長へ手渡しました。今回の義援金・救援金は、日本赤十字社岐阜県支部および大野町分区を通して、被災地へ送られます。

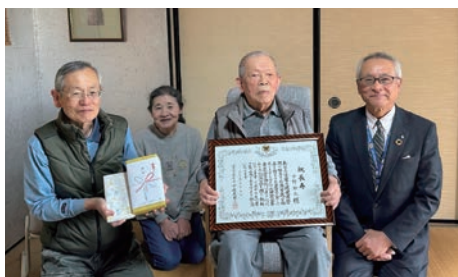
後藤委員長は「被災者の方の生活再建のため、また、被災地における救護活動に役立てて欲しい」と述べると、分区長は「奉仕団の皆さんは、日頃から一人暮らしの方の訪問活動や有事に備えた炊き出し訓練など、精力的に活動していただいている。今後も町のためご協力をお願いします」と話しました。



▲義援金・救援金を手渡す後藤委員長（中右）、田代副委員長（中左）、宇佐美副委員長（左）

## 長寿のお祝い

100歳おめでとうございます  
これからも健やかに



宇野 幹夫さん（下座倉）

95歳おめでとうございます  
これからも健やかに

小森 三一さん（中之元）

鳥本 富子さん（公郷）



後藤 静子さん（大野）

北見市  
ところ通信  
Vol. 304

## トコロチャシ跡遺跡群の一般公開開始 — 貴重な史料を地域の宝に —

4月29日、国指定史跡の常呂遺跡の東端にある「トコロチャシ跡遺跡群」の一般公開を始めました。

この遺跡群では、8世紀から9世紀ころのオホーツク文化や18世紀ころのアイヌ文化など、さまざまな時代で人々の生活したあとが見つかっています。一般公開を始めるにあたり、アイヌ文化の儀式などで使われたとされるチャシと、オホーツク文化の竪穴住居やクマの頭蓋骨を並べた祭壇を再現し展示しました。

4月26日には、一般公開に先立ちガイドツアーが行われ61人が参加。「当時の竪穴住居は、六角形の形が多いのはなぜ？」などの質問もあり、参加者は、興味津々に先人たちの暮らしに思いをはせました。

